

山縣自然 （山縣自然） ロシア文學者。明治三十年八月十九日山口縣熊毛郡
 阿月村生れ、昭和二十年五月歿（二八九七—一九四五）。本名高七。大阪府立
 天王寺中學校を経て、大正六年ロシアに留學すると、革命勃發に遭遇。
 滞在一年、歸朝後東洋大學で一年間哲學を學ぶ。のち來朝畫家アブノ
 フの師事してロシア文學を研鑽。次でパウシエキン作『ゴツブロフスキ
 ー』（大正十年五月）二十日聚英閣）を譯刊。またハアルツイバーシエ
 フの短篇の翻訳を『文章誌』に発表。（山縣直澄「父、山縣自然」と『黒パ
 ン』）後は、家業の會社經營に専念。
 遺著 ナキール・マイ・ナレグ 『黒パン』あるロシア革命の回想（昭和五十八年八月十五
 日新時代社）は、數少い日本人によるロシア革命實見記として貴重。

